

大腸がん検診で「陽性（要精密検査）」となられた人へ

精密検査が必要です！必ず精密検査を受けてください。

大腸がんは、常に出血しているわけではないので、便潜血検査で1回でも潜血反応がみられたら、「陽性（要精密検査）」になります。

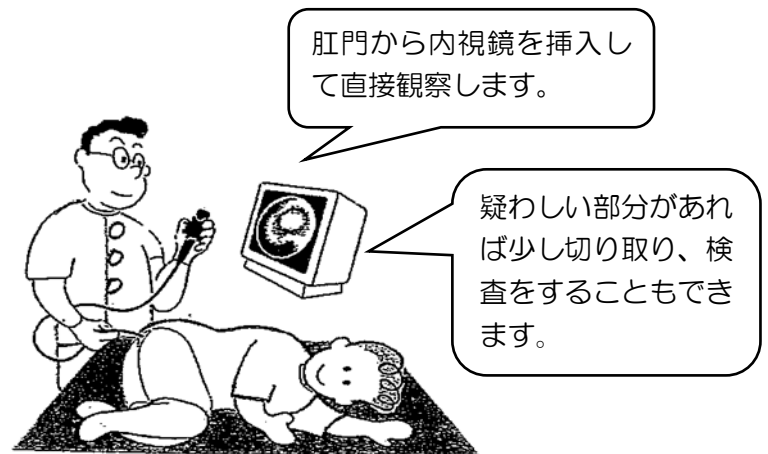
便に血が混ざる原因として、がんやポリープ、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などがあります。

大腸がんは、早期に発見し治療につなげることで治癒する疾患です。原因は何かをつきとめ、早期に適切な医療につなげるために、専門の医療機関で必ず精密検査を受けましょう。

精密検査の方法

■全大腸内視鏡検査

肛門から柔らかく細いカメラを空気と一緒に挿入し、カメラを通じて大腸の全体を観察する検査です。腸の長さにより多少時間は違いますが、通常約30分～1時間ほどかかります。



- 下剤を飲んで大腸の中をからにして行います。
- 検査の前に腸の動きを止めるような注射を打つ場合があります。

精密検査の注意事項

検査前日・当日の食事
下剤の服用
水分摂取など

医師の指示に従ってください

(不明な点・不安な点は医師にご相談ください)

■以前に緑内障・前立腺肥大・心臓病といわれた事のある場合や、その他何か不安がある場合は検査前にあらかじめ申し出てください。

■精密検査ではまれに腸に穴があいたり、出血したりすることがあります。

精密検査受診に必要なもの

- ①健康保険証・・・精密検査については保険診療となり、自己負担が必要です。
- ②大津市大腸がん検診精密検査依頼書兼結果票
- ③受診する病院の診察券(お持ちの場合のみ)